

手賀の杜自主防災だより

平成30年12月2日
2018年度-第2号
手賀の杜自主防災組織
情報収集伝達班 編

おろそ

疎かにしていませんか？

もしもの場合に備える家族会議を行いましょう

8年前の東日本大震災のように、**平日日中で家族の所在がバラバラの状況で大地震が起きたら、電話やメールが全く使えない条件下であなたは同居家族とどう連絡を取り合えますか？どうやって家族のいる場所に辿り着けますか？**

今後30年以内に千葉では**85%**という非常に**高い確率（日本一）**で**震度6強以上の地震**が起きると推測されています。今それが起きたら…を想定した家族会議を是非実施しておきましょう。話し合っておくべき課題は以下のとおりです。

議題その1：災害発生直後の連絡手段

災害伝言ダイヤル「171」〔下図参照〕、あるいは災害用伝言版「web171」の使い方を覚えておきましょう（裏面上段※を参照）。ダイヤル171利用にあたってはメッセージ登録電話番号（例：自宅の電話番号）を予め家族内で決めて覚えておくことが必要です。

次頁に続きます



議題その2：自宅以外の避難場所

災害発生により自宅に留まれない状況下となった際の別の居場所を決めておきましょう。通常は最寄りの学校^(注)や公民館施設などの指定避難所になります。また、ご親戚や縁者宅もその候補地になるでしょう。



(注)手賀の杜自治会役員が赴き運営する避難所は沼南高校です



避難の際は念のため、前述の伝言ダイアルや web 伝言板にメッセージを残しておく、更に自宅玄関先など門扉にメモを貼り付けておくなどで対応しましょう。避難時は家の扉や窓の施錠を忘れずに。

プラス ONE…家族全員で習慣にしましょう

外出前に何処に出かけるかを家族へ知らせる習慣をつけましょう。いざという時に家族の所在が分かることで心配事が一つ減ります。



とりあえず家族での話し合いを一度やってみましょう!